

一般社団法人 航空貨物運送協会
編集・発行人 広報委員会

東京都中央区新川1丁目6-1 アステール茅場町ビル4階
電話 (03) 6222-7571 (代) FAX (03) 6222-7577
URL <http://www.jafa.or.jp/>

IATA CBTA Provider として認定

当協会は、2022年8月30日の自己評価に基づくIATAの審査を経て、2022年9月30日に「IATA CBTA Provider」として認定されました。

日本においては、10月1日現在、当協会を含め3つの教育機関が認定されています。

尚、当協会が実施する2023年からの危険物取扱に関する教育訓練につきましては、追って詳細をご案内いたします。



(国際教育委員会)



Certificate of Accreditation

The International Air Transport Association (IATA)
hereby certifies that

Japan Aircargo Forwarders Association (JAFANA)

Japan

is CBTA Provider certified.

The dangerous goods training has been reviewed and meets the training provision of the IATA Dangerous Goods Regulations (DGR) - Section 1.5. The company is accredited to conduct training in the transport of Dangerous Goods by air in accordance with the Competency-based Training and Assessment (CBTA) guidelines.

Functions: H6.1 - H6.3

Valid from: 30 September 2022

Valid until: 30 September 2024

Certificate #: CBTA-PR-22-0043

Willie Wehn
Director General, IATA

CBTA PROVIDER

Note: This certificate is not a proof of CBTA Center Accreditation by itself - official Accreditation is only shown on the CBTA Center Registry - www.iata.org/cbta-center



2022年度 成田地区貨物施設見学会開催

JAFANA-BIAC 共同研究会では10月13日、「2022年度成田空港地区貨物施設見学会」を開催しました。同研究会は毎年、航空貨物の梱包の重要性や実際のフローを中心に、荷主企業を対象に見学会を開催しております。コロナ感染拡大の影響で3年ぶりの開催で27名が参加。株式会社 ANA Cargo の貨物機と輸出上屋の見学、成田国際空港株式会社 (NAA) による座学を通じて、理解を深め、参加者からは、パレットへの積み付け、実際の航空機への積み込み方などの質問が活発になされました。

NAA による座学では、「成田国際空港における国際航空貨物の現状について」



をテーマに担当者がご説明。同空港の上屋や周辺の物流施設の現状、貨物取扱実績の推移などについて講義を受けました。

午後には荷主を対象に空港外の日本通運株式会社の施設見学も行われました。

(JAFANA-BIAC 共同研究会)

2022年9月12～16日、 FIATA World Congress (世界大会) 開催

FIATA WC (世界大会) は、例年9月から10月にかけて開催されるFIATAの恒例イベントで、毎回、物流・輸送・貨物業界から1,000～1,500名の参加者とのセクターからのオブザーバー、および多くの機関参加者が集まります。

このようにFIATA WCは国際的なイベントであり、政府および非政府組織との交流も提供しており、著名な講演者や政策問題の議論は、イベントプログラムの重要な要素となっています。

本年は、9月12～16日の間、韓国・釜山において開催されました。当初、釜山での開催は2020年秋に予定されていましたが、コロナ禍のために2年間延期されていたもので、2019年ケープタウンでの世界大会から3年ぶりの開催となりました。

今回は73の国・地域から1,350名が参集しての会議開催となりましたが、オンラインでの参加も認められる形式となりました。

わが国及び韓国での「感染第7波」の状況等に鑑み、当協会からは国際交流委員が関係委員会にオンラインで出席しました。

今回の総会では、関係委員会毎にFIATA発行の複合運送証券(FBL)電子化(eFBL)普及を目指す取り組みや、海上輸送分野における公正な競争環境、貿易円滑化協定の施行その他のトピックスについて、FIATA事務局が用意したスライド資料を基礎にそれぞれの状況報告及び今後の優先すべき取り組み課題に

ついて審議が進められました。

特に当協会に関連する航空貨物分野を扱う航空輸送委員会=AFI (Airfreight Institute) における主な論点の審議の様子は以下のとおりでした。

● EU ICS2 (Import Control System2)

(詳細は ec.europa.eu/ICS2) について

・EU (ノルウェー、スイスを含む) へ輸送される貨物につき事前に保安・安全に関する情報の送付を求めるEU税関のリスクマネジメントの枠組みで、航空貨物一般には2023年3月1日から施行される。

・EU域外のフォワーダーは、EU向け貨物搭載前に航空会社を通じ又は自らデータをICS2のシステムにおけるENS (Entry Summary Declaration) を通じ、EU加盟国の税関当局に送付を求められることとなる。

・送付を要するデータには、事業者情報、貨物情報 (HSコード、内容、重要、包装、コンテナ、シール等)、輸送手段・輸送ルート等が含まれる。尚、実施に先立ちシステムの適合性テスト (Conformance tests) が2022年9月1日から開始される。また、AFIのタスクフォースが、FIATA会員への対応の検討のためのサーベイを実施する。

● ICAO-FIATA 危険物教育プログラムについて

・FIATAのICAOに対する契約上の義務を履行する上での適正手続を担保するため、多くの訓練センターが新協定を締結した。



・新協定の下では従来のカテゴリ3～5に限定されていた教育訓練コースが、カテゴリ6を新たに含むこととなる。

● IATAのOne-Record イニシアチブについて

・IATAは航空貨物のサプライチェーンに係るデータの共有・交換を2026年1月1日より標準化されたプロトコルで行いたいとしており、2023年4月よりフォワーダーとも協議を開始したい意向である。

・FIATAとしては、データのプライバシー、信頼性を極力保ち、他のサプライチェーンパートナーとの関係でフォワーダーの独立性を維持する観点から、IATAへの直接接続を希望しないフォワーダーのため、FIATAがIATAと接続したOne-Recordサーバーとして機能することもあり得るとのこと。

今後のFIATA WC (世界大会) の開催地については、2023年大会はブラッセル (ベルギー) で、2024年大会はパナマで開催することが既に決定されていましたが、今般、2025年大会をハノイ (ベトナム) で開催することが決定されました。

(国際交流委員会)

JAF A セミナー 貨物利用運送事業の概要及び現状について

9月29日(木)、JAF A セミナールームに国土交通省物流産業室国際複合物流企画調整官・澤本様をお招きし、貨物利用運送事業の概要及び現状についてのセミナーを開催しました。

セミナールーム24名、オンライン参加

152名の多くの方々ご参加をいただき、業界においては、欠かすことのできない「貨物利用運送事業における主な遵守事項」については熱心に講義を聴講する参加者の皆様が印象的でした。

(政策委員会)



国内航空貨物危険物講習会を開催

国内航空貨物危険物講習会を、2022 年 10 月 14 日に WEB および JAJA セミナールームにおいて開催しました。昨年に引き続き WEB も併用して開催としたことから、全国各地から多くの方の参加が可能となり、今回は 400 名の参加となりました。

外部講師として国土交通省航空局の担当官、ならびに日本航空株式会社の担当者をお迎えし、航空危険物に関わる関係法令、事業者の教育訓練、航空危険物の基本知識、無申告危険物の発見事例や撲滅に向けた取り組みなど、講師の方々の専

門的な知見と動画等の資料を交えながら分かりやすく解説いただきました。

また、JAJA 危険物インストラクターによる講義では、危険物規則の解説と国内航空貨物で危険物としての取扱いが特に多いリチウム電池とドライアイスにスポットを当てた内容で今回初めて開催しました。

当委員会では、今後も航空危険物の適切な取扱いに関する知識の習得や教育、キャンペーン等の啓蒙活動について、継続した取組みを実施してまいります。

今回と同様の講習会の開催を 2023 年 2



月 10 日にも計画しておりますので、会員の皆様には積極的に講習会に参加いただき、安全・安心な航空輸送の維持のため日々の業務に活かしていただければ幸いです。

(国内業務・教育委員会)

2022 年秋期国際航空貨物基礎講習会開催

2022 年 10 月 19 ~ 20 日の間、国際教育委員会主催の秋期国際航空貨物基礎講習会を開催いたしました。

本年も、より国際航空貨物に関する知識、理解を深めてもらうよう春(5 月)と秋(10 月)の 2 回に分け開催し、10 月 19 日は、会場 27 名、オンラインで 170 名。10 月 20 日は、会場 28 名、オンラインで 65 名の合計 290 名と多くの方に参加いただきました。

講義は、下記 6 つのテーマに沿って、損保ジャパン様・JAJA 各委員会・JAJA 講

師が担当し、1 コマ 60 分の講義を行い、特に、通関業務と危険物取扱いにつきましては、春の講習会に引き続き実務編として開講いたしました。

参加された皆様にはアンケートへの回答をお願いし、来年以降皆様のアンケートを参考により充実した内容で開催できるよう準備を行ってまいります。

(国際教育委員会)



国際航空貨物基礎講習会の講義メニューおよび担当講師

テーマ	講師
航空保安について	保安委員会
保険について	損保ジャパン様
国際運送約款について	JAJA 講師
国際宅配便について	国際宅配便業務委員会
輸出入通関業務(実務編)	通関業務委員会
危険物取扱いについて(実務編)	JAJA 講師

10 月は、「社会悪物品等密輸防止キャンペーン月間」です

当協会は、平成 4 年 6 月に財務省関税局との間において「密輸防止に関する覚書」を締結しています。この覚書によれば、税関側は当協会に対して、会員に対する密輸防止等に係る啓蒙活動に関する支援を行い、業界側は、会員の密輸防止等に対する意識の向上を図るとともに、不正薬物・銃器・金地金等の密輸に関連すると思われる不審な貨物・人物を発見した場合には速や

かに税関へ通報するよう会員に対する指導に努めることとなっております。当協会では、財務省作成のポスター、パンフレットを会員に配布するとともに、今年度は 3 年ぶりに東京税関から講師をお招きし、講演会を開催しました。参加された皆様は、最近の密輸動向等の説明に熱心に耳を傾けていました。

(通関部会)



沖縄振興特別推進交付金に関する 要請を发出

当協会は、8月12日、水野内閣府政策統括官(沖縄政策担当)及び玉城沖縄県知事に対し、県外に航空輸送される沖縄産農林水産物の出荷事業者に対する支援の充実等を求め、要請書を提出致しました。

農林水産物条件不利性解消事業補助金の単価改定が令和4年度に行われた影響により、航空輸送を利用したコールドチェーンにより県外出荷を行う事業者負担の増加や、出荷量の減少が生じることが懸念されます。

沖縄振興施策としての本件制度内容の決定が、一義的には県の政策判断に委ね

(参考) 沖縄本島より本土に出荷する農林水産物に係る
キロ当たり補助限度額の対前年度比較 (県資料より当協自作成)

(単位:円)

個別品目の対象区分	令和4年度	令和3年度	
	(輸送方法の区別なく)	航空輸送	船舶輸送
青果物	37	60	20
花卉	33	80	35
畜産物	5	60	20
鮮魚等	50	80	20
モズク	5	80	10

られるべきものと理解致しておりますが、国内航空物流における沖縄路線の重要性

と、今般の単価改定が地元の関係業界に

与える影響に鑑みまして、本件要請を行いました。

(国内業務・教育委員会)

2022年7月および9月セッション、 IATA ディプロマ認定試験合格者数

2022年7月22～8月1日および9月22～10月1日まで行われましたIATA ディプロマ認定試験の結果をご案内いたします。

尚、既報のとおり2022年11月の試験を持ちまして、危険物コースのオンライン試験は終了となり、2023年からはIATA CBTA センターでの危険物取

扱教育訓練に移行となります。基礎コースにつきましては、従来通りオンライン試験(OERS)※が実施されます。

(国際教育委員会)

※ Online Exam with Remote Supervision

2022年7月認定試験結果

2022年7月	受験者数	合格者 (pass)	合格率 (注1)	90点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率	欠席 (No show)
基礎コース	45	33	73.3%	7	21.2%	9
危険物イニシャル	44	28	63.6%	13	46.4%	4
危険物リカレント	18	15	83.3%	11	73.3%	3
合計	107	76	83.5%			16

2022年9月認定試験結果

9月試験	受験者数	合格者 (pass)	合格率 (注1)	90点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率	欠席 (No show)
基礎コース	109	93	85.3%	26	28.0%	8
危険物イニシャル	58	39	67.2%	24	61.5%	5
危険物リカレント	22	19	86.4%	12	63.2%	3
合計	189	151	79.9%			16

新規会員紹介



オプテックエクスプレス株式会社 (正会員)

〔代表者〕 代表取締役社長 木村 勇貴

〔本 社〕 東京都港区新橋2丁目 10-5 新橋原ビル 3F

〔事業所〕 東京・成田・大阪・中国・香港・ベトナム・アメリカ・イギリス・メキシコ

〔事業内容〕 第二種貨物利用運送事業（国際航空・国際外航）、通関業、貨物軽自動車運送事業、他



弊社は日本国内数少ない緊急貨物をメインに取扱う専門チームです。24時間体制で常にスタッフが常駐し、週末や時間などでも通関や航空貨物の手配を行います。特に中国エリアは弊社の強みで、日系では緊急輸送

サービスを行っている唯一の企業として圧倒的な信頼と案件数があります。中国支店も同様に約40名のスタッフが在籍し、うち半分は日本語が使えます。

最後に、弊社はソリューションブ

ロバイダーです。物流をマクロな視点で捉え、どの輸送方法がお客さまにとって最適なのかを常に考え一般的な輸送方法とは少し違う弊社独自のユニークな輸送提案を心がけております。



センコー・フォワーディング株式会社 (正会員)

〔代表者〕 代表取締役社長 高橋 健二

〔本 社〕 東京都江東区潮見二丁目8番10号 潮見SIFビル3F

〔TEL〕 03-6862-7102 [URL] <https://senko-forwarding.co.jp/>

〔事業内容〕 海上フォワーディング、航空フォワーディング、通関、ドレージ、その他



センコー・フォワーディング株式会社は、センコーグループホールディングスの企業ミッション「Moving Global 物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える」を要として、国際環境の変化に機微に即応できる国際海上・国際航空フォワーディング事業と国内における質の高い通関事業を武器に、更なるグローバルネッ

トワーク構築を目指して2020年4月1日にセンコー株式会社より独立し、設立致しました。

昨今の不確実性が高い時代においては、既存のビジネスの構図を変革する大きなチャンスと捉え、積極的に新しい仕組み、新たなビジネスの創造にチャレンジします。

高い専門性とセンコーグループ国

内外拠点を最大限に活かした最適な国際一貫物流サービスの実現のため、「日本と海外」「海外と海外」「お客様とお客様」を「繋ぐ」をキーワードに真の『グローバルネットワーク企業』を目指して、自らが「変革」「創造」そして「有言実行」できる『心から喜ばれる会社』へ努めて参ります。



学校法人KBC学園 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ (賛助会員)

〔法人名〕 学校法人KBC学園

〔法人代表〕 理事長 大城 圭永

〔学校名〕 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

〔住 所〕 〒901-0155 沖縄県那覇市金城5-8-6

〔電 話〕 098-857-9337

〔FAX〕 098-858-3825

〔URL〕 <https://www.irc.ac.jp>

〔事業内容〕 専門学校事業



学校法人 KBC学園 専修学校
インターナショナルリゾートカレッジ

学校法人KBC学園は、7校の専門学校と1校の高等課程を運営する教育機関です。KBC学園創立者の思いである「自利利他」の精神に基づき、職員全員が常にその思いを意識し、学生の成長のために日々精進し、「高度な技能、技術を身につけ、人間性豊かな永久戦力となる人財を育成します。」を教育理念として、各業界で永久的に活躍できる人財を輩出する

使命を担っております。

専修学校インターナショナルリゾートカレッジ (IRC) は、2022年4月に、開校29年目を迎え、航空及び物流・ホテル・ブライダル業界において、多くの卒業生が活躍しております。

設置学科の一つである「エアポートビジネス科」においては、空港グランドハンドリング業務、通関・貿

易等の国際貨物取扱業務等、これからの物流業界を支える重要な役割を背負って立つ学生たちの、国家試験対策等を含む学習指導及び就職指導等を行っております。

今回の賛助会員として入会させていただくことを機に、国際物流業界について視野を広げ、国際的に活躍できる人財を育成するため、より一層の努力を行って参ります。

委員会等活動報告

7月 8日	通関業務・情報(合同)委員会	2022年度国際基礎講習会関連・「社会悪物品等の密輸防止キャンペーン」の取り組み関連
11日	国際宅配便業務委員会	観光庁との意見交換
12日	国際教育委員会・国際業務委員会	CBTAに関する説明会(オンライン開催)
12日	国際交流委員会	FIATA WC参加について
15日	広報委員会	正副委員長互選、JAF A ニュース123号編集会議
20日	国際宅配便業務委員会	正副委員長互選、免税品の海外直送制度について
22~31日	国際教育委員会	7月期IATAディプロマ試験開催
25日	国際業務委員会	正副委員長互選、国際物流における情報共有化会合について
25日	国際教育委員会	正副委員長互選、秋期基礎講習会・IATAディプロマ試験料改定について
28日	保安委員会	正副委員長互選、2022年度航空保安教育訓練開催について
29日	国内業務・教育委員会	正副委員長互選、国内航空貨物危険物講習会の準備、動画教材制作の進捗確認
29日	広報委員会	JAF A ニュース123号発行
8月 2日	政策委員会	今後の委員会構成について、JAF A セミナー(SAF燃料)の振り返り
3日	国際交流委員会	正副委員長互選、FIATA WC参加について
4日	JAF A -BIAC共同研究会	正副委員長互選、第30回危険物実務講習会の振り返り、成田貨物地区施設見学会、2023年賀詞交歓会について
8月22~9月2日	国際教育委員会	9月期IATAディプロマ試験対策事前講習会開催(東京・大阪)
30日	国際教育委員会	IATA CBTA評価審査
31日	国内業務・教育委員会	国内航空貨物危険物講習会の準備、国内航空貨物基礎講習会(秋期講習)の準備、動画教材制作の進捗確認
9月 5日	通関業務・情報(合同)委員会	正副委員長の就任、国際航空貨物基礎講習会(秋期)、「社会悪物品等の密輸防止キャンペーン」進捗
6日	JAF A -BIAC共同研究会	成田貨物地区施設見学会について
8日	政策委員会	JAF A セミナー「貨物利用運送事業」についての確認、今後のJAF A セミナーの開催案の討議
12日~15日	国際交流委員会	2022年FIATA WC(@韓国・釜山)オンライン参加
14日	保安委員会	2022年度航空保安教育訓練について
20日	国際宅配便業務委員会	2022年度委員会活動(梱包改善)について
21日	広報委員会	JAF A ニュース124号の掲載記事案について、JAF A ホームページの今後の在り方について
22日	国際業務委員会	デジタル化推進について、ICS2について
26日	国際教育委員会	秋期国際基礎講習会について、IATA CBTAセンターについて
29日	政策委員会	JAF A セミナー「貨物利用運送事業の概要及び現状について」を開催

お詫び

JAF A ニュース 123 号に掲載の「新役員 就任挨拶」文中、中鼻様の「会社名」に誤りがありました。お詫び申し上げます、訂正させていただきます。

誤) ケイヒン(株) 正) ケイヒン航空(株)